

みたらし祭

田中羽翼

(2020 年入学 4 期生)

みたらし祭について

7 月の土用の時期に毎年、下鴨神社でみたらし祭（御手洗祭）という足つけの神事が行われている。境内にある御手洗池の中に足を浸すことで罪や穢れを祓い、疫病や安産に効き目があるとされている。



京都で過ごす最後の夏、私は以前から気になっていた御手洗祭に初めて足を運んだ。平日の午前中にもかかわらず、境内には多くの観光客が訪れていた。神社に到着すると提灯が飾られた門が出迎えてくれる。御手洗池の入り口でお灯明料を払い、ろうそくを貰って池に入る。池に入るやいなや、水の冷たさに驚いた。真夏の炎天下にもかかわらず、水温は約 15 度と冷たい。少し進むと池の端にお供え台が設置されており、明かりを灯したろうそくを社にお供えする。御手洗池を上がると、奥にご神水の授与所があり、そこでご神水をいただくことができる。

井上社と御手洗池

御手洗池の井戸の上に祀られている井上社は、通称「御手洗社」とも呼ばれる。井戸の上に建つことから井上社と呼ばれるようになった。御祭神は「瀬織津姫命（せおりつひめのみこと）」というお祓いの神様で、罪や穢れを海に流す災厄祓除の女神である。この社の前身は唐崎社であり、賀茂斎院の御禊や解齋の神祭のために参拝される神社だった。かつては鴨川と高野川の合流地東岸に鎮座していたが、文明 2 年（1470）の兵火によって焼亡したため、現在の場所に再興された。

井上社の前にあるのが御手洗池で、一年を通して様々な神事が行われる。その中でも代表的な神事が、毎年土用の丑の日の前後 5 日間にわたり行われる「足つけ神事」である。物や体の穢れを祓い清める禊（みそぎ）は平安時代から行われており、季節の変わり目や儀式的の前になると貴族たちは禊払いをして罪や穢れを祓っていたことが藤原家隆の歌にも

残されている。

「風そよぐ ならの小川の夕暮は みそぎぞ夏の しるしなりける」

足つけ神事の他にも、この御手洗池にて矢取りの神事（夏越神事）や流し雛、葵祭に先立って斎王代の禊の儀が毎年行われている。

糺の森を流れる川

「糺の森（ただすのもり）」は、賀茂川と高野川の合流地点にある原生林で、全域が国の史跡に指定されている。糺の森の中央にある参道を進むと「奈良の小川」と名付けられた小川がある。境内の御手洗池から流れ出した水は奈良の小川を通り、手水舎付近・南口鳥居の橋から「瀬見の小川」に名を変える。一説によると、『方丈記』の冒頭文「ゆく川の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず」の文は、鴨長明がこの川を想い書いたと伝えられている。



みたらし団子の発祥



みたらし団子の起源は、下鴨神社が行う「御手洗祭」や「葵祭」の際に神前のお供え物として氏子の家庭などで作られたのが始まりとされている。一説によると、鎌倉時代末期に後醍醐天皇が境内の中にある御手洗池で水をすくったところ、1つ大きな泡が出て、続いて4つの泡が出てきたことから、その泡を団子に見立てて作ったという。この団子に味付けを施したのが

下鴨神社の氏子であった菓子店・亀屋栗義の主人であった。1922年に店を開き、団子にタレをかけて販売したことでみたらし団子が広まったとされている。

まとめ

ひんやりと冷たいご神水に足を浸け、涼しさを感じながら無病息災を祈ることができるみたらし祭。授与所ではみたらし祭の記念ボトルも販売されているため、ご神水を持ち帰ることも可能だ。神社周辺はお団子が食べられる店が複数あるため、祭りや参拝のついでに訪れてみてはいかがだろうか。

〈参考文献〉

サライ.jp “【古都の名水散策 第17回】京都・下鴨神社の糺の森に湧き出ずる名水「御神水」を訪ねる” <https://serai.jp/tour/traveljapan/1040503> （参照 2023.8.4）

下鴨神社 “宮司の挨拶 -唐崎社神地の再興- ” <https://www.shimogamo-jinja.or.jp/greeting/article.php?id=207> （参照 2023.8.4）

下鴨神社 “宮司の挨拶 -御手洗社- ” <https://www.shimogamo-jinja.or.jp/greeting/article.php?id=234> （参照 2023.8.5）

下鴨神社 “お祓いのお社” <https://www.shimogamo-jinja.or.jp/oharai/> （参照 2023.8.4）

tenki.jp “五体を表す1串5個のみたらし団子は、厄除けの身代わり人形だった！ 知られざるみたらし団子の歴史とは”

https://tenki.jp/suppl/m_nakamura/2015/11/02/7411.html （参照 2023.8.5）